

2012 年度活断層学会若手優秀講演賞

授賞者： 石村大輔

対象講演： 近畿地方北東部における第四紀後期の地殻変動，日本活断層学会 2012 年度講演予稿集，p30-31.

授賞理由：

石村大輔会員の講演は、近畿地方北東部の隆起域に発達する段丘地形と沈降域の地下資料に着目し、10 万年スケールでの地殻変動の特徴を論じたものである。隆起量に関しては、伊勢湾西岸地域と近江盆地の湖西・湖東地域に発達する気候段丘の形成年代を被覆層中のテフラ分析から認定し、それらの比高に基づいて算出した。一方、沈降量は濃尾平野と琵琶湖周辺の豊富な地下地質情報をもとに、MIS2, 6 に相当する埋没段丘構成層の上面深度から沈降量を読み取った。この結果、濃尾平野と近江盆地の形成に寄与する西傾動運動や断層周辺の背斜・向斜状の変形を見出し、地形発達に断層活動が大きく影響したことを示した。さらに、これらの地殻変動と断層起源の変形のモデル計算結果を比較し、既存研究で推定されている低角な断層よりも高角な断層（50-60 度）を仮定した場合、地殻変動をより説明できるとした。

既往研究の多い地域において、精力的なフィールドワークと豊富な地下資料の緻密な分析に基づいた労作であり、第四紀後期の地殻変動に新たな知見を提示したことは、高く評価される。